

# 施策を問う

## ここが聞きたい

### 食物アレルギー事故は 対岸の火事ではない



花城 清文 議員

**問** 給食の食物アレルギーによる女児死亡事故が報じられたが、これは対岸の火事ではない。現場では急性症状を防ぐため、薬剤エピペン注射が必要な場合もあるという。幼稚園や学校現場での取り組みはどうか。

**副町長** 対象児童のいる幼稚園は2園あり、1園で研修会を開催し、1園で保護者からの対処指導を受けた。小中学校は保護者、主治医、消防と連携している。

#### 給食エプロンを問う

**問** 古くなったエプロンは取り替えて欲しいとの意見がある。町民の声を町政へ届けることも議員の大事な仕事であるため質問するが、どう考えるか。

**教育長** 各小中学校の判断で予算請求をし、必要に応じ取り替える。

**問** 幼稚園でも給食が開始された。園児の自主性を高めるため、準備や手伝いも良いと思うが、現場の取り組みはどうか。

**教育長** 2つの幼稚園は給食エプロンを保持し、園児も配膳等を手伝っている。

#### しまくとうばの保存を

**問** 南風原町にしかない「しまくとうば」の保存継承に取り組んではどうか。また、地域によって独特のなまりが



公民館のうちな〜ぐち入門講座も盛況

ある。CDなど音声で残してはどうか。

**教育長** 保存継承に努め、CDについても検討したい。

#### 新川の道路環境整備を

**問** 昨年も新川43番地内の私道を町道に認定してほしいと質問したがどうなっているか。道路行政は固有事務ではないのか。地域の議員や自治会長が動かないと行政が動かないということでは困る。

**副町長** 今後も交渉を重ね、認定に向け進めたい。道路に関しては自治体業務だと考える。

**問** 新川180番地、213番地付近の町道は冠水対策を以前にも質問した。早急に改修すべきであるがどうか。

**副町長** 応急対策としてグレーチング蓋（網目状の蓋）を設置し、対応したい。